

STEP2 働きかけ力

「働きかけ力」とは、相手に納得してもらうように働きかけ、状況に応じて効果的に巻き込む力のことを言います。

このSTEPでは、周囲の人を動かすための、働きかけ力について学びます。

◆事前チェックシート◆

あなたは普段から、相手に働きかける力がありますか？

次の項目をチェックし、YESに該当する場合は、具体例を挙げてみましょう。

	チェック項目	YES	NO
1	困難な局面にぶつかった時、すぐに諦めるのではなく、周囲に協力を呼びかけている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<具体例>			
2	相手を巻き込むための、効果的な手段を知っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<具体例>			
3	周囲を巻き込むことによって、達成できたことがある。 (学内の行事、学外のボランティア活動など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<具体例>			

1 なぜ働きかけ力が必要なのか

職場では、一人ひとりが責任を持って仕事に取り組むべきですが、個人では解決できないこともたくさんあります。そのような時に周囲に働きかけたり、巻き込んだりすることができれば、一人では困難に思えたことでも全員の力で乗り越えることができるようになります。

2 働きかけ力のない行動の例

次のような行動にどのような問題があるか考えてみましょう。

× 周囲の人に配慮した積極的な行動ができない

周囲の人に気を配ることと、遠慮することは違います。遠慮しすぎて消極的な態度や言動を取ってしまうと、やる気がないように思われてしまいます。

常に謙虚な気持ちを持つことは必要ですが、自分の周りで何が起きているかを察知し、状況にあわせて積極的に行動しましょう。

たとえば、取りまとめ役やリーダーを買って出ると、積極性をアピールすることができます。

コラム リーダーの決め方

リーダーを決める時は、どのような方法を取っていますか？

本人の立候補、他者からの推薦などがありますが、なかなか決まらない時は、「じゃんけん」で決めたりしていませんか？

ここで改めてじゃんけんのルールを考えてみてください。それは相手に「勝つ」ことです。リーダーはグループをまとめる大切な役割であるにもかかわらず、罰ゲームの感覚で、じゃんけんで「負けた人」が選ばれる場合があります。他のメンバーは負けた人についていくことになりますが、それはおかしなことです。

リーダーを決める時は、じゃんけんで「勝った人」を選出するほうが前向きな考え方ですね。

× 意思疎通ができず、情報の交換や共有ができない

人と会話をする時に、自分と相手との間で会話の内容や量のバランスを考えて双方向のコミュニケーションができていますか？相手に配慮せず、一方的に話しすぎてしまうようでは、より良いコミュニケーション相手とは言えません。

「人と話をするのが好き＝コミュニケーションが上手」という図式は成り立ちません。話し好きだからと言って、相手の気持ちを汲み取るのがうまいとは限らないからです。相手に配慮し、思いやりのある会話があれば、相手の受け止め方も良好なものになります。心がけ次第で、誰もがコミュニケーション上手になることができ、情報の交換や共有がスムーズにできるようになります。

× 成果が上がらない

「努力をしているつもりなのに、なかなか思うように成果が上がらない」という悩みを持つ社会人は多いものです。

しかし、成功して成果を上げることが全てでしょうか。

人は、成果が上がらず苦勞している中から這い上がろうと、新しい取り組み方や、効果的なアプローチ方法を見つける努力をします。

成功体験からはモチベーションを高め、失敗体験からは改善策を見出し、危機管理能力を磨くことができます。

もし、自分一人で解決できない場合でも立ち止まるのではなく、周囲に協力を求め、みんなで解決策を考えてみると良いでしょう。

コラム 人生、山あり谷あり

「人生、山あり谷あり」とよく言われますが、山＝良いもの、谷＝悪いものというわけではありません。人生にはさまざまなことがあるという意味です。もし仕事で失敗して「人生における谷、まさにどん底だ・・・」と思うことがあっても、良い方向に考えればそれ以下になることはないということであり、あとは前進あるのみと考えることができます。これも自分を成長させてくれるひとつの試練であり、良い経験だと前向きに捉え、ひとつひとつクリアしながら進んでいきましょう。

3 日常から人脈作りを心がける

周囲に働きかけ、巻き込んでいくためには、普段からどのような行動を心がければ良いのでしょうか？

■感謝の気持ちを持つ

今日、「ありがとう」という言葉や感謝の気持ちを誰かに伝えましたか？
生きていること、おいしいものが食べられること、良い天気恵まれていることなど、私たちの身の回りには、感謝すべきことに溢れています。人は感謝されたり、褒められたりするとうれしいものです。ほんの少しのことでも、お礼を言われるとその人のために役に立ちたいという気持ちになります。上司や先輩だけではなく、同僚や後輩、もちろん家族に対しても、素直に感謝の気持ちを伝え、より良い人間関係を築きましょう。

■苦手な人にも、自分から歩み寄る

仕事をする時には、付き合う相手を自分で選択することはできません。苦手な人ともうまくやっていかなければ、仕事がしにくくなってしまいます。人は、自分と性格があわなかったり、自分が正しいと思っている考え方や価値観を否定されたりすると、「この人は苦手だ」と感じるものです。ただ、それぞれの人が、育った時代や周辺の環境などの影響を受けて、それぞれ違った性格を形成し、それぞれの価値観を持ちます。考え方や価値観が違って当たり前なのです。多種多様な考え方や価値観が存在するからこそ、さまざまな発想やアイデアが生まれるということを理解しましょう。

